

岩手県沿岸における地域コミュニティ形成を 目的とした生活支援事業

特定非営利活動法人 遠野まごころネット
理事長 多田 一彦

<事業概要>

東日本大震災の発生から2年以上が経過し、岩手県沿岸被災地では、コミュニティの再生がますます重要になってきています。この事業は、被災された方々のためのコミュニティづくり活動を通して、日々変化する被災地の状況に対応した生活支援の構築を行う長期的な支援活動として計画されたものです。

1. 事業の内容

東日本大震災の発生から2年以上が経過しました。被災地はいまだ復興にはほど遠い状況です。かつての町が流失した岩手県内被災各地では、被災した約4万人の方々がかつての生活を取り戻せないまま応急仮設住宅や、みなし仮設等で避難生活を送っています。応急仮設住宅やみなし仮設への入居の結果、かつて地域に存在したコミュニティは崩壊し、地域のみまもり機能・自治機能は低下しています。被災された方々、特に社会的弱者の生活を支えると同時に、地域の自治機能を取り戻すためのコミュニティの再生事業が極めて重要になってきています。

当法人遠野まごころネットは、東日本大震災の発生直後から、被災された方々をサポートする様々な事業をおこなってきました。中でも被災された方々の生活支援、コミュニティづくり、そして「なりわい」づくりは、2012年度から特に重要な活動と位置づけ、積極的に事業を進めています。生活支援は、被災された方々の住まいを一軒一軒訪問し、ニーズ調査とニーズ対

応をおこなうものでした。コミュニティづくりのためには、カフェ（お茶っこ）活動や足湯活動、そして各種イベントを開催しました。2013年度は、変化する状況に応じて、これらをさらに発展させた活動を計画しました。



2013年度のコミュニティづくり活動は、岩手県内でも特に重大な被害を受けた大槌町、釜石市、大船渡市そして陸前高田市でおこないました。具体的な内容はカフェ（お茶っこ）活動と直接的なみまもり活動です。カフェ（お茶っこ）活動は、エンターテイメント（音楽、紙芝居等）、ガーデニング、手芸を組み合わせ、性別や年齢に左右されず、多くの参加が見込まれるように工夫しました。また連携団体の支援を仰ぎ、弁護士による法律相談やファイナンシャルプランナーによる家計やローンの相談を同時に行い、専門的で実際的な生活の支援を行いました。ま

た地域で行われるイベントの補助も積極的に行いましたが、これもまた重要なコミュニティづくり活動でした。カフェ（お茶っこ）活動そして見守り活動ともに、定期的に頻繁に開催することで、地元根ざした事業となることを心掛けました。



これらの活動に携わったのは、当法人のスタッフを中心に、地元のみなさん、そして当法人のボランティアです。当法人ですべてを主導するのではなく、地元の皆さんの協力を仰いだのは、受け身ではない主体的なコミュニティづくりをおこなうためです。またボランティアの参加は、実際の活動のサポートという実務的な意味に加え、被災された方々との交流を通じて、地域や世代、そして国籍を超えたコミュニティづくりを進めるという副次的な目的を考慮してのものです。

2. 事業の成果

当事業は累積の受益者が大変多く、内容も参加者におおむね好評をもって受け止められました。被災された方々一人一人をサポートできただけでなく、見守り機能・自治機能を備えたコミュニティづくりという目的にも大いに貢献したと思われまます。ご支援くださった大阪コミュニティ財団様に心から感謝いたします。



3. 今後の方針

一方で、震災前のようなコミュニティが再生されたとは、到底言えないのが現状です。まだまだやるべきことはたくさんあります。当法人は2014年5月に複合コミュニティ施設「大槌たすけあいセンター」を完成させました。こういった施設を活用し、多面的な活動を展開することで、地域に安定したコミュニティの場と「なりわい」の場をつくり、根付かせていきたいと思っています。

連絡先

担当者氏名 佐々木雪恵
住所(〒028-0514)
岩手県遠野市遠野町 28-5
電話 0198-62-1001
FAX 0198-62-1002